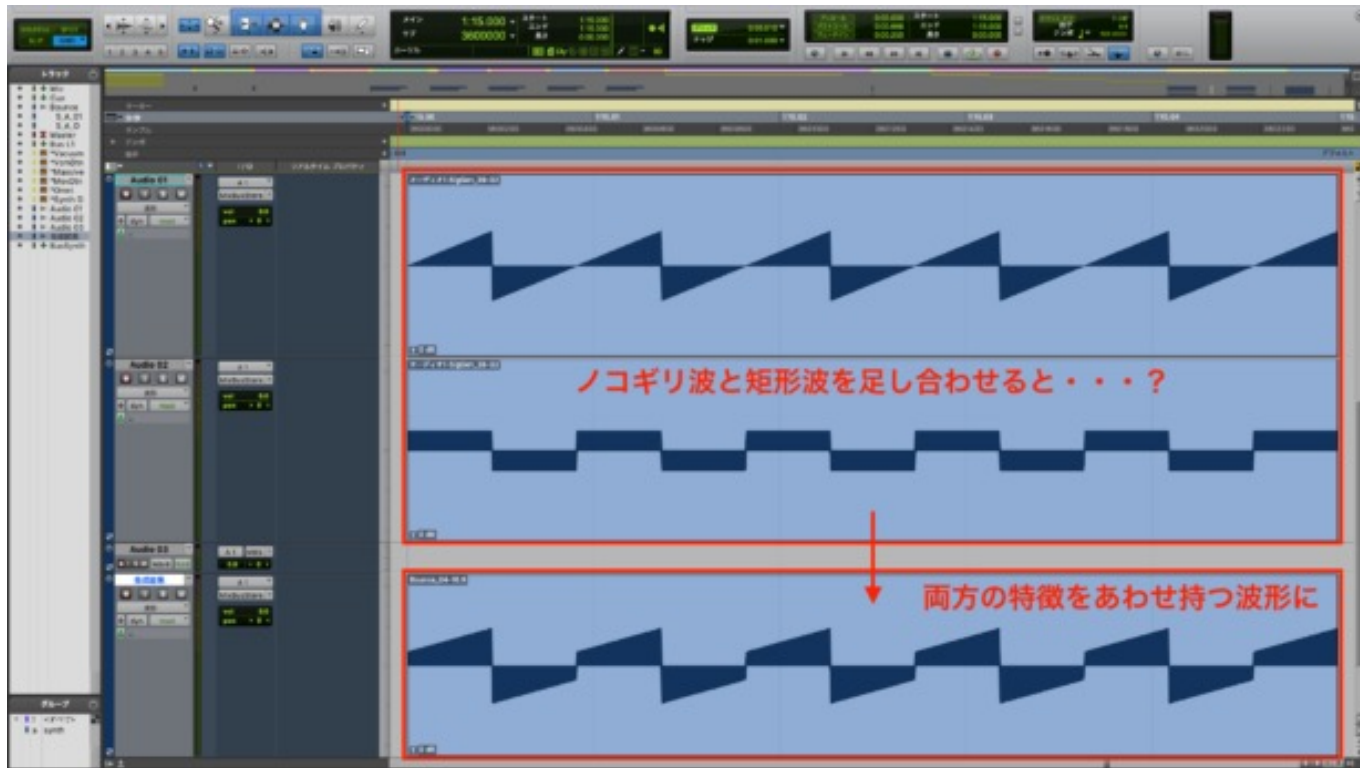


1-4 加算合成

加算合成とは？

複数のオシレータを足し合わせる合成方法。使用するオシレータの種類、数、デチューンやユニゾンとの併用によって、さまざまな音を作り出すことができる。



デチューン

各オシレータのピッチを微妙にずらすことで、音色に厚みを出すテクニック。これにより音に厚みが生まれ、太いサウンドを作ることができる。



ユニゾン

同じ種類の波形を何音も同時に鳴らす機能のこと。シンセには「ユニゾン機能」とよばれる、単一の波形を任意の個数だけ重ねて鳴らす機能が搭載されている。



加算合成のテクニック

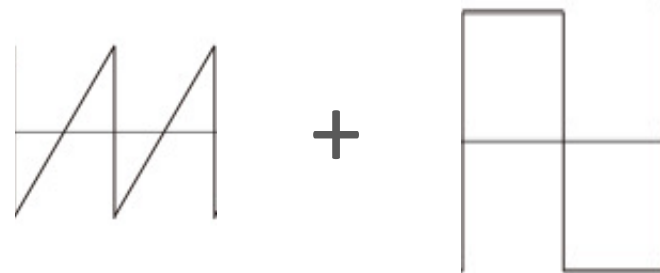
①異なる波形を合成



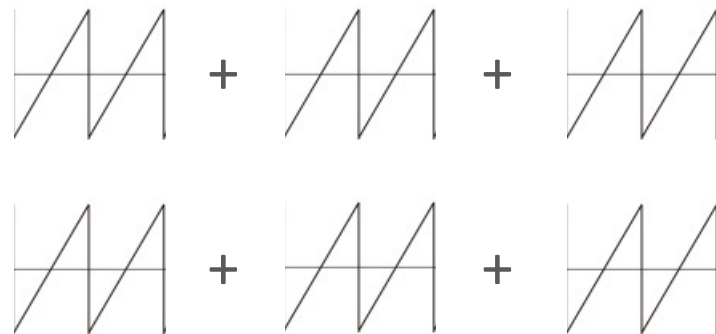
②異なる周波数で合成



③異なる音量で合成



④ユニゾン&デチューン



① 異なる波形を合成

異なる波形を組み合わせることで、複雑な音色を生成できるテクニック。シンセに搭載されたオシレータの数だけ合成させることが可能。



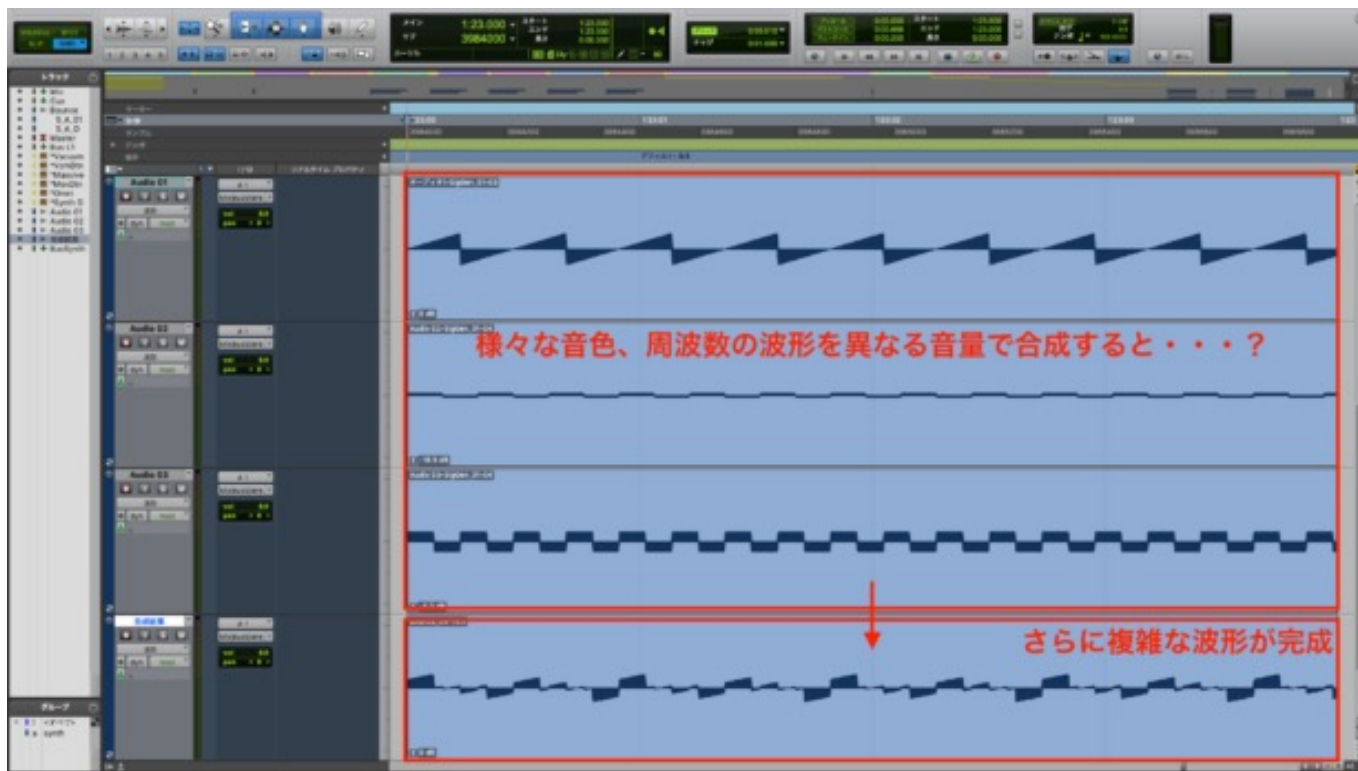
② 異なる周波数で合成

異なる周波数で足し合わせることで、音に厚みを出すテクニック。前述のデチューンやユニゾンもこの一種。倍音成分を補強したり、ハーモニーを形成するのも良い。



③ 異なる音量で合成

異なる音量で足し合わせるとより細かい音色の調整が可能に。各オシレータの音量を細かく調整しながらイメージに近いバランスを作り上げていこう。



④ ユニゾン & デチューン

ユニゾンした状態で、それぞれのオシレータをデチューンさせるテクニック。これにより、オシレータ1機だけでもぶっといサウンドを作ることができる。

